

2024_1121「黄金色の裏庭（写真）」日々の理科 3759号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北軽井沢（浅間高原）に多い樹木は、ミズナラ、シラカバ、モミ、カラマツの4種類です。ミズナラとシラカバはだいたい11月の始めまでにすべて葉を落とします。最後に残る「落葉樹」がカラマツです。カラマツ（落葉松）は、漢字名の通り日本では珍しい「落葉針葉樹」です。モミの枝は非常にしなやかで、どんなに葉に雪が積もっても、枝を地面側に下し、決して折れることはありません。しかし、枝の脆いカラマツの場合、初雪よりも前にすべて葉を落としておかないと、太い枝まで折れてしまい、最悪の場合、樹そのものが枯死してしまうのです。

北軽井沢では11月上旬から葉を落とし始めます。その後落葉の速さは加速度的になり、11月中旬の晴れた日に、一斉に針のような葉を落とす日は、まるで金色の雪が降ってくるような美しさです。11月も中旬から下旬になると、ついに落葉松もほぼ落葉が終わります。その頃のカラマツの森の地面は、黄金色に染まっています。積雪は風景を一変させますが、カラマツの落葉もそれに負けないぐらい、風景を劇的に変化させると思います。

（2024年11月中旬／北軽井沢）

